

## 競技概要(栃木予選)

- 【競技方法】 ・ 18ホールストロークプレー  
\* 悪天候などで9ホール競技に短縮する場合もある
- 【予選通過】 ・ プロ25位タイ、アマ10位タイまでが決勝ラウンド進出
- 【使用ティ】 ・ 男子プロ・研修生、男子アマは**チャンピオンティ (無垢)** 使用  
・ シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生、男子アマは**バックティ (黒)** 使用  
・ 女子プロ・研修生、女子アマは**レギュラーティ (青)** 使用
- 【その他】 ・ **2点間距離計測機の使用を可能とする(高低差機能は禁止)**  
・ アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。  
・ 修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。  
・ ペナルティーエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する  
但し、池に接している11番及び18番ホールのグリーン周りのバンカーにおいては、砂と水面との接点を池周囲の赤線の延長上とみなし、ペナルティーエリアの限界とする。  
・ 排水溝、樹木の支柱、球止め及び防護ネット、U字溝、生け垣を除く垣根、舗装された道路等、その他の人工物は動かさない障害物とする。  
・ カート道路や舗装された道路、サブグリーン(グリーンエッジを含む)はプレー禁止とする。  
その際、スタンスがかかる場合も救済を受けなければならない。  
・ ジェネラルエリアにおいて、球がその勢いで地面に食い込んでいるときは罪無しに拾い上げ、地面に食い込んでいた場所の直後を基点に1クラブレンジス以内のジェネラルエリアにドロップをする。  
・ 一部グリーンとグリーンエッジの境界に溝があり、溝に球が触れている場合はオングリーンとする。  
・ 3番ホールティーショット時に左の池方向に球が行き、落下地点が見えず球が見つからない場合はレッドペナルティーエリアの処置をする。  
・ ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフターンのパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)  
・ プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。